

第3回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和5年6月29日（木）

午後1時30分～午後2時40分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

事務局 (丹治補佐)	<p>皆さまお疲れさまです。定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第3回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに、配付資料の確認をお願いします。事前送付した資料としまして、本日の会議の次第。資料1-1から1-3、各部会の状況について。資料2、令和5年度教育委員会の主な事業について。資料3、鎧潟クリーンセンターごみの直接搬入の受入時間の変更について。資料4-1から4-4、区自治協議会会長会議資料。そのほか本日机上にお配りした資料としまして、「杜人上映会のお知らせ」「中之口まつりのご案内」「渡辺忠矢委員からの西蒲区の課題発言内容」。それから、教育委員会からのアンケート。以上になります。不足等はありませんでしょうか。</p> <p>それではこれ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>皆さま改めまして、こんにちは。自治協議会も3回目ということで、部会も含めていよいよ本格的な議論になっていくと思います。</p> <p>のちほど、また、ご報告をさせていただきますが、にしかんパレードについて、無事に終わることができました。関係者の皆さま、大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからは着座にて進行させていただきます。私の方で議事を進行してまいりますので、活発なご意見をお願いします。</p> <p>それでは本日の委員の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局 (丹治補佐)	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員30名のうち、本日の出席者は28名であり、過半数の出席を確認しています。従いまして、新潟市区自治協議会条例第9条の会議の運営規定を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、本日、傍聴は1名、報道は1社が来場しております。</p> <p>事務局、および報道機関で写真撮影ならびに録音をさせていただきますのでご了承願います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは議事に入る前に、にしかんパレードについてご報告をさせていただきます。初めに、実行委員長の堀区長よりお願いします。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>皆さまこんにちは。区長の堀です。</p> <p>6月18日のにしかんパレードについて、晴天に恵まれて開催することができました。</p> <p>運営スタッフとして関わっていただいた方、ボランティアとして関わっていただいた方、パレードにご参加いただいた方、そしてご来場していただいた方。関わっていただいたすべての方に感謝を申し上げます。ありがとう</p>

	<p>ございました。</p> <p>西蒲区の人口は約 5 万 4 千人ですが、当日はそれを上回る 6 万人の方がにしかんパレードにお越しいただきました。</p> <p>小さなトラブルはありましたが、大きな事故なく開催できたこと、これで大成功だと思っておりますが、それに加えて、当日会場に来られた方にたくさん笑顔が見られました。</p> <p>これからも、楽しく明るく活気あふれるまちづくりを進めてまいります。引き続き、皆さまからのご協力をお願い申し上げまして、簡単ですがあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。私の方から細かい説明をさせていただきます。貴重な時間頂戴しまして申し訳ございません。</p> <p>にしかんパレードの来場者が 6 万人ということで発表させていただきましたが、「本当に 6 万人いたのか」とよく言われます。こちらは開催前に、沿道で密着しない程度に並んで、2 メートルほど後ろまで人が入ったとして、建設課の試算ではだいたい 3 万 5 千から 4 万人入るということでした。</p> <p>当日 10 時 45 分ぐらいまではけっこうすかすかで、本当に人がいっぱい来るのだろうかという思いがありましたが、各地の催し物がスタートするにつれてどんどん人が増え、最終的には、特に駅側のコンビニの駐車場が満員になったり、蒲原ガスの脇の道にも人がたくさんいたり、そういったところを参考にし、沿道の住民も含めて、6 万人ということで発表させていただきました。</p> <p>巻駅の自動改札を通過した方が、通常 4 千人ぐらいの利用のようですが、パレード当日は約 1 万 4 千人ということでキャパオーバーとなり、内野西が丘から電車に乗ることができないという状況が出てしまいました。</p> <p>臨時便を追加で出していたという話を聞いておりますので、電車の中は乗り降りができない状態で、パレードが進むにつれてどんどん人が押し寄せてきたというかたちです。</p> <p>警備の状況については、警備会社の方から、店舗の入り口などの車の出入りがあるところを重点的に警備していただき、そこが 80 名。</p> <p>ボランティアは、300 人募集のところ 130 名の方に参加いただきました。巻高校・巻総合高校にもボランティアをお願いしまして、それが 60 名。</p> <p>区役所の職員が 60 名ということで、総勢 250 名。警備会社を入れて、300 名を超える人数で警備をさせていただきました。</p> <p>先ほどの区長からもお話いただきましたが、将棋倒しや、つまずいて転んで周りの方が倒れるなど、大きな事故は一切ありませんでした。ただし、当日はかなり暑かったため、熱中症になって救急車で待機された方が 2～3 名いたという話を聞いておりましたが、消防の方も、本部と保健センターで救急車を待機し、警察の方からもたくさん出ていただき、万全の体制をとっておりました。</p> <p>私たちとしては、5 万人来て精一杯かなというお話はあったのですが、そ</p>

	<p>れ以上になったというところです。</p> <p>「駐車場はありません」と PR させていただいた理由の 1 つは、例えば、城山に駐車場があります、角田浜に駐車場があります、と言うと、そこを目がけて全国各地から人が殺到します。こういった交通網があまりない地域でやる場合は、みんなが車で来るということになると、それこそ新潟駅から大渋滞になる可能性もあるので、「駐車場はありません」ということで決めさせていただきました。地元の方は、知り合いのところに停めさせてもらったりしていたようです。</p> <p>終わってからも、巻まつりの露店は混み合い、新潟駅周辺のホテル・弥彦・岩室にもたくさん人が入ったとの話を聞きました。周辺のコンビニについては通常の売上げの 4 倍。ちょっと離れたところでは 3 倍とのことでしたし、他の商店や食堂関係もいっぱい人が入ったとお話を聞きましたので、経済効果的にも良かったと思います。</p> <p>ディズニーパレードがメインとなりましたが、西蒲区各地の催し物、やかた竿燈・越王太鼓、越後にしかわ傘鉾、和納棒遣い・和納拍子方、中之口 Jr. ブラス with.OAPS、潟東地域コミュニティ協議会のかもネギの PR、そういった方々が一堂に会して出てきたということが、一番良かったのではないかなと思います。</p> <p>また、出演された団体の皆さまも、あれだけの人数のところに出たというのはすごく良かったというお話も聞いていますし、Yellow Dance Studio は、フォロワーや問い合わせもすごく増えているということです。</p> <p>関わっていただきましたすべての皆さんに感謝をいたしまして、ご報告とさせていただきます。</p> <p>また、全ての会計が終わったのち、実行委員会を開きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。大変ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入ります。議事 (1)「各部会の状況について」です。資料 1-1 をご覧ください。</p> <p>各部長は、部会の状況を総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会の順に説明者席で報告をお願いします。</p> <p>初めに総務部会長、古島部会長、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>総務部会の古島です。よろしくお願ひします。着座で説明させていただきます。</p> <p>先月行われた、第 2 回の総務部会では、令和 5 年度・6 年度の区自治協議会の提案事業について協議しました。</p> <p>3 つのグループに分かれて、それぞれ活発な意見交換を行い、地域課題の洗い出しを行いました。</p> <p>主な意見として、防災・防犯意識が低い、路線バスが廃止されて交通の便が悪い、高齢者と子どもが交流できる機会・場所があると良いなどの意見がありました。</p> <p>本日、この後行われる部会では、部会として取り組むテーマの選定に向け</p>

	て、課題の絞り込みを行う予定です。総務部会からは以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますでしょうか。 ありがとうございました。
(古島委員)	どうもありがとうございました。
議長 (吉田会長)	続きまして保健福祉部会、岩崎部会長お願いします。
(岩崎委員)	保健福祉部会の岩崎です。座ってご説明させていただきます。 先月行われた第2回の保健福祉部会では、令和5年度・6年度の区自治協議会提案事業について協議を行いました。 保健福祉部会も3つのグループに分かれて活発な意見交換を行って、地域課題の洗い出しということで論議を行いました。 その中で主な意見として、ごみの分別が細かくて複雑なこと、認知症患者を介護する立場の人に向けた支援が必要ではないかということ、あとは運動するきっかけ作りが必要、との意見がありました。 本日、このあと行われる部会では、部会として取り組む地域課題の選定に向けて、テーマの絞り込みを行う予定です。保健福祉部会からの報告は以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますでしょうか。 ありがとうございました。 続きましてまちづくり・産業部会、大橋部会長お願いします。
(大橋委員)	まちづくり・産業部会の大橋です。よろしくお願いします。着座で説明させていただきます。 第2回のまちづくり・産業部会では、今年度・来年度の自治協議会提案事業について協議をしました。 皆さまから、まちづくり、それから農業、商工業、観光などについて多くの意見が出されました。 主な意見としては、地域の農業従事者の高齢化、担い手不足の問題、人と人とのつながりが薄くなってきており、交流したり、触れ合える機会が減っているというような意見がありました。それ以外にも、かなりの意見が出ていました。 本日の部会では、この課題に沿って、テーマの選定に向けて絞り込みを行う予定です。 まちづくり・産業部会からの説明は以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ただ今の説明について、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。 ありがとうございました。 各部会で話し合っている中で、いろいろな意見を聞いてみたいテーマが

	<p>出てくると思います。その時はぜひ全体会で、ほかの部会の委員からも活発な議論をしていただけると、部会だけではなく全体を巻き込んでいくことができると思います。現時点ではまだたたき台ですので、次回以降、積極的に皆さんに意見を聞いていただけると、部会同士で連携できるところもあるかもしれませんので、積極的に全体会に諮っていただければと思います。よろしくをお願いします。ありがとうございました。</p> <p>続いて報告に入ります。報告（1）の「令和5年度教育委員会の主な事業について」です。</p> <p>本日、教育委員会から、大宮教育委員に来ていただいています。</p> <p>それでは教育支援センター植野所長より、ご説明をお願いします。</p>
<p>（教育支援センター植野所長）</p>	<p>教育支援センターの植野です。大変お世話になっております。今日はよろしくをお願いします。座ってご説明させていただきます。</p> <p>教育委員会では、例年この時期に教育委員会の主な事業について説明させていただいております。そして、秋以降に、テーマを設定して教育ミーティングを開催し、そこでご参加の皆さまからご意見などをお聞きし、今後の教育政策に生かすという流れとなっています。</p> <p>本日、皆さまの机上にアンケート用紙をお配りしました。これからの説明をお聞きになり、関心を持たれた内容をお教えいただくとともに、施策に対するご意見やご質問がありましたら、お書きください。先ほどお話しした教育ミーティングのテーマの設定に向けて、参考にさせていただきたいと考えています。</p> <p>それでは、「令和5年度教育委員会の主な事業」について説明をさせていただきます。資料2をご覧ください。</p> <p>教育委員会では、教育ビジョン第4期実施計画の中心的な考え方のテーマである「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指し、記載の5つの視点から施策を展開していきます。</p> <p>初めに、視点1と視点4についてです。こちらは、各事業が2つの視点に関連するというので、合わせた表記となっています。</p> <p>まず左上のGIGAスクール構想の推進についてです。これまで、児童・生徒1人1台端末の整備や、大型ディスプレイなどの周辺機器の整備のほか、ICT支援員や運営支援センターにより、教職員のサポートなどを実施してきました。新年度からは、ICT支援員の配置などのほか、学校外での学びの通信環境の整備や、国が検討を進めているデジタル教科書の導入に向けた研究などを進めていく予定です。</p> <p>次に、特別支援教育の推進です。ICTを活用した個別の教育支援計画等、作成支援システムの導入を進めています。</p> <p>特別支援学級の増加に対して、特別支援教育を専門とする教員が行き届いていないということもあります。そこで、経験が浅い教員も、システムの知見を借りながら、子どもの特性に合わせた支援計画を作成し、より適切な支援を提供できるようになると考えています。</p>

また、福祉分野などの関係機関とも連携し、就学・進級・進学・就職などに個別の教育支援計画等が有効に活用される仕組みづくりを進め、就学前から社会参加まで切れ目なく支援を受けられる体制を整備していきたいと考えています。

次に市立高等学校等での探究的な学習の充実です。市立高等学校等の探究的な学習を充実させることにより、いっそうの魅力化・特色化を図るもので、主に探究学習の課題解決の過程で、地元企業や大学などと直接触れ合うフィールドワークや実験等に必要な費用を措置し、探究学習の充実を図ってまいります。

続きまして、資料の右側をご覧ください。学校給食の総合的な見直しです。現在市内の学校の給食は、自校方式、給食センター方式、スクールランチ方式の3種類がございます。西蒲区はほとんどの学校が給食センター方式ですが、西特支援学校だけ自校方式となっています。

学校教育を取り巻く環境の変化の中で、生涯にわたって健康で心豊かな暮らしを送るためには、学校給食はどうあることが望ましいか、外部有識者等から意見を聞きながら、すべての子どもたちへの適切な栄養摂取や、さらなる食育の推進、魅力ある給食の提供につながるよう、必要な見直しを進めてまいります。

次に学校園の計画的な設備整備です。こちらについては、図工室・理科室といった特別教室への冷房設備が未設置のところ、順次空調設備を設置し、学習環境を改善していくということと、照明設備のLED化により、温室効果ガスの削減を図り、子どもたちの環境意識の醸成にもつなげていきたいと考えています。まず今年度は、整備に向けた設計を行う予定となっています。

次に、障がいの有無に関わらず楽しめる読書環境の整備です。障がいがあるなどの理由により図書館への来館が困難な方へ、図書や視聴覚資料の宅配サービスを実施するほか、令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づき、今年度「新潟市読書バリアフリー推進計画」を策定します。市長部局と連携しながら、障がいの有無に関わらず、誰もが読書を楽しめるように環境整備を進めてまいります。

続きまして、視点2です。これからの社会教育のあり方や役割の検討ということで、人口減少や少子高齢化、ICT化の進展など、社会状況の劇的な変化に対し検討する必要があります。今後は生涯学習ボランティアの育成・支援や、学校や地域とのさらなる連携により、人づくり、地域づくりを推進するほか、市長部局と連携し、効果的に事業を実施できるよう必要に応じて事業の見直しを進めてまいります。

続きまして視点2と視点3の2つにまたがる事業ということで、新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動についてです。

本市では学校部活動を規模的・時間的に縮小し、スポーツ庁・文化庁の示すような「新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動」の環境を整備

	<p>していきます。生徒自身が「やりたい」と感じた地域にある活動に参加し、専門家から指導を受けながら、さまざまな地域の仲間とともに活動したり、自己の技能や知識を高めたりしていきます。</p> <p>現在本市では、昨年度、モデル実施をしてきている 4 つの実証事業に加え、今年度新たに 5 つの運営団体を追加して、地域移行のあり方を試行しています。今後は、指導者の配置にかかる支援や練習場所の確保等についてや、経済的に困窮している参加者への負担軽減の取り組みなど、市長部局とも連携しながら、環境の整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、視点 3 です。地域とともにある学校作りの推進については、引き続き全小中学校などにおいて学校運営協議会を開催するほか、円滑な熟議が行われるよう、今年度新たにコミュニティ・スクール講座を開催します。</p> <p>西蒲区では、第 1 回目を 8 月 4 日に開催予定です。</p> <p>そのコミュニティ・スクール講座は、学校運営協議会の委員などに対し講座を開き、話し合いの進め方を知ってもらい熟議を体験することを通して、コミュニティ・スクールの理解の向上と協議会の運営に必要なスキルアップを図るものです。</p> <p>また、地域と学校パートナーシップ事業については、引き続きすべての学校に地域教育コーディネーターを配置し、学校教育活動の充実を図るとともに、地域活動を結ぶネットワークづくりを推進してまいります。</p> <p>次に視点 5 です。新潟市教職員の資質能力の向上について、『「新たな教職員の学び」を支える研修の充実』については、教職員が自らのキャリアデザインやニーズに合った研修を主体的にマネジメントできるよう、研修講座の充実・増設を行い、学び続ける教職員を支えてまいります。</p> <p>「第三次多忙解消行動計画の推進」については、教職員が自らのワーク・ライフ・バランスを確立し、心身ともに健康な状態で、生き生きと子どもたちに向き合うために、学校と教育委員会、地域・保護者の皆さまとが一体になって教職員の多忙解消を進めていきたいと考えています。</p> <p>以上で「令和 5 年度教育委員会の主な事業」の説明を終わります。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>植野所長、ありがとうございました。今ほど、この教育制度を細かく説明をいただきました。</p> <p>12 月頃、教育ミーティングを開催予定ですし、アンケートの方もご協力もお願いしたいと思いますが、今ほどの説明を受けてご意見やご質問等ありますでしょうか。</p> <p>古島委員お願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>説明ありがとうございました。視点 2 の GIGA スクールの ICT 支援員。これは何をする人なのか分からないので、注釈をつけていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>植野所長、お願いします。</p>

(吉田会長)	
(教育支援センター 植野所長)	<p>GIGA スクール構想というのは、国の方で子どもたちに 1 人 1 台端末を用意してネットワーク環境を整える、世界につながる環境を作って学びを高めていこうというものです。</p> <p>ICT 支援員は、そういった学校の端末の操作や、ネットワーク環境の管理等をお手伝いする役割の職員で、こういった支援員を今後各学校に配置していくというものです。</p>
(古島委員)	ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	渡辺委員、お願いします。
(渡辺 (忠) 委員)	ICT 支援員というと、人件費と機材にかなり予算がかかっているのでしょうか。
(教育支援センター 植野所長)	こちらに出ている数字は、人件費が多いです。
(渡辺 (忠) 委員)	それから、学校給食の総合的な見直しについて、3 方式あるとのことですが、3 方式にそれぞれに課題があって、それを全体的に見直すということではないのでしょうか。
(教育支援センター 植野所長)	まだ検討が始まったばかりなので、こういった方向になるのか承知していませんが、旧新潟市内では、スクールランチ方式を導入していますが、これを利用しない家庭はお弁当を持参しているという話が多々あり、全員が同じものを食べたほうが良いのではないかというような話もあったりするため、こういったかたちでやっていくのかというのを総合的に考えて、改善していくことになると思います。
(渡辺 (忠) 委員)	分かりました。もう 1 ついいですか。 視点 3 の地域の学校パートナーシップ事業の推進について、この事業の予算、1 億 3 千万円というのは非常に大きな額ですが、主にどのようなところに使われるのでしょうか。
(教育支援センター 植野所長)	各学校には地域教育コーディネーターという職員を配置して、主にその方々の人件費となっています。
(渡辺 (忠) 委員)	なるほど。分かりました。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。 岩崎委員、お願いします。
(岩崎委員)	視点 5 の第三次多忙化解消行動計画の推進なのですが、第一次、第二次もあると思うのですがこれはどういうことをやってきたのかと、第三次の具体的な内容があれば簡単をお願いします。
(教育支援センター 植野所長)	まず、在校して仕事している時間の上限を明確にすることに始まりまして、ここ最近ですと、学校に「スクールサポートスタッフ」という職員を配置して事務仕事ですとか、コロナ禍での対応もありましたので、そういった業務をやっていただく人員を配置し、教職員の負担を減らすというような

	<p>取り組みを行ってまいりました。しかし、まだ実際、規定の時間より多く働いている方がたくさんおり、部活動の地域移行も含めて、いろいろな部分から教職員の負担を軽減して第三次計画を進めていくところです。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>視点3の、地域と学校パートナーシップ事業の推進の予算、1億3千万円はすごい額だなと思うかもしれませんが、新潟市の小・中学校全部に地域教育コーディネーターを配置しています。学校の規模によって、最大年間で何十時間というのが決まっているため、収入として150万円や100万円とかはありえませんが、限られた時間の中で活動し、地域との橋渡しをしているところです。金額を見るとびっくりするかもしれませんが、ご理解いただけるかなと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>私の方から1つ。学校が雨漏りしたり、修繕が必要な個所が多数あります。学校数が多くて対応が難しいというのは分かりますが、やはり環境がいちばん大事なので、何らかのかたちで早急に対応いただきたいと思います。一応ご意見ということで伝えさせていただきます。</p>
<p>(教育支援センター 植野所長)</p>	<p>私の方からも、担当課になるべくお願いするようにしていきます。そういった声を挙げていただくとありがたいので、よろしく申し上げます。</p> <p>では、残りはまたアンケートを書いていただき、ご提出いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>アンケートは今日中でしょうか。あとで出しても良いでしょうか。</p>
<p>(教育支援センター 植野所長)</p>	<p>あとで出していただいてもかまいません。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ではアンケートについては来週中ぐらまでということではよろしいでしょうか。</p>
<p>(教育支援センター 植野所長)</p>	<p>教育支援センターの方にご提出いただければと思います。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>分かりました。</p> <p>それでは、皆さまたくさんの意見をありがとうございました。</p> <p>植野所長、ありがとうございました。</p>
<p>(教育支援センター 植野所長)</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>それでは報告(1)を終了します。次に、報告(2)「鎧潟クリーンセンター ごみの直接搬入の受入時間の変更について」です。循環社会推進課長から説明をお願いします。</p>
<p>(堀内循環社会推進 課長)</p>	<p>こんにちは。環境部循環社会推進課の堀内です。貴重なお時間をいただきありがとうございます。よろしく申し上げます。着座にて説明をさせていただきます。</p>

資料3「鎧潟クリーンセンター ごみの直接搬入の受入時間の変更について」ご説明します。

日頃から本市の廃棄物行政にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

本市では、人口減少などに伴うごみの減少を踏まえ、効率的で持続可能なごみ処理体制構築を目指して、廃棄物処理施設の統廃合・集約に取り組んでいます。

資料のいちばん下、新潟市全域の地図をご覧ください。

現在、燃やすごみを処理する焼却施設は、新田・亀田・鎧潟・豊栄の4施設ですが、新田以外の3施設は老朽化が進んでおり、更新する時期を迎えています。

このため、新田と亀田の2施設体制に集約化を図るため、亀田清掃センターの建て替えを進めているところです。

令和11年に予定している、新亀田清掃センターの稼働に合わせ、鎧潟・豊栄の2施設は焼却施設としての機能を停止しますが、自己搬入ごみの受入などの中継施設としての活用は継続する予定です。市民の皆さまによる、ごみの直接搬入の受入は継続する計画としています。

次に資料の中段、一覧表をご覧ください。現在の各施設の受入時間を表記しています。

施設ごとに受入の開始時間・終了時間・昼休憩時間が異なっており、合併前の受入時間を継続していることにより、利用される市民の皆さまにとって、分かりにくい状況となっています。

今後の廃棄物処理施設の集約化を見据え、利用される市民の皆さまにとって分かりやすいものとするとともに、効率的で焼却施設の働き方改革にも沿った運営を図るため、令和6年4月から、全施設にて受入時間を統一したいと考えています。

この統一化により、鎧潟クリーンセンターにおいては、平日は現在9時から午後4時30分のところを、午前8時30分から午後4時に、土日祝日は現在午前9時から午後4時のところを、午前8時30分から午後3時にまた、いずれの日も正午から午後1時までを、昼休憩時間とさせていただきます。

10月頃から市ホームページをはじめ、施設での掲示やチラシ配布などにより、利用者の皆さまに向けて周知を図っていくこととしています。

受入時間の変更により、ご利用の皆さまにはご不便をおかけする部分もあるかと思いますが、なにとぞご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、鎧潟クリーンセンターでは、日曜祝日も受入をしておりますが、他の施設では行っておりません。これについては、利用者の皆さまへの影響を考慮し、焼却施設として停止するまで当面の間、引き続き受入を継続させていただく予定です。

	<p>新亀田センターが稼働し、施設を集約化する時には、全施設で統一を図りたいと考えておりますが、その際は、改めてご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ただ今の説明についてご意見やご質問はありますでしょうか。</p> <p>鎧湯について、図を見ると、これは令和6年4月からお昼の時間は休むということでしょうか。</p>
(堀内循環社会推進課長)	<p>ただ今説明させていただいたとおり、この構成については令和6年4月から適用させていただきますので、ご指摘のとおり令和6年4月から昼休みをいただくかたちとなっています。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>小林委員、よろしくお願いいたします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>搬入待ちの車が並ぶと思いますが、正午からパタッと終了するのでしょうか。それとも30分ぐらい前に「これで終わりますよ」という連絡をしていただけるのでしょうか。</p>
(堀内循環社会推進課長)	<p>市民の皆さまが自己搬入にいられて並んでいる中で、正午になったら突然やめるということはないようにします。</p> <p>状況を見ながら、そういった部分については検討していきます。</p> <p>現在、昼の時間に何台来ているかという部分ですが、統計上は1日8.1台で、繁忙期は別としても、おそらくその平均的な台数からすると、昼休みの時間に列をなすということはあまりないのかなと思っています。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>ぜひこちらの方は、コミ協だより等を活用して、周知を徹底していただくようお願いしたいと思います。</p> <p>堀内課長、ありがとうございました。</p>
(堀内循環社会推進課長)	<p>ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは報告(2)を終了します。次に報告(3)「区自治協議会会長会議の報告について」です。私の方から説明します。</p> <p>資料4-1をご覧ください。</p> <p>会長会議は、8区のすべての自治協議会の会長で構成されており、連絡調整などを行っています。</p> <p>資料4-1にすべての会長の名前が書いてあります。座長については西区の大谷会長が選出され、副座長に中央区の佐藤会長が選出されました。</p> <p>資料4-2をご覧ください。</p> <p>おもて面には各区の自治協議会の委員構成が載っており、裏面には各区の提案事業が載っています。</p> <p>資料4-3をご覧ください。各区が設置している部会などの一覧表です。区</p>

	<p>によって部会の名称や所管が異なったりしていますので、参考までにご覧ください。</p> <p>私もすべての区の自治協の取り組みは見たことはないのですが、全部西蒲区と同じかと思ったら、特に部会について、各区によって特色があります。</p> <p>また、予算についても、中央区はいちばん大きいので、すごい予算かなと思ったら、165万円とのこと。今後の参考にしていただければと思いますので、お願いします。</p> <p>資料 4-4 をご覧ください。</p> <p>全体研修については、研修テーマや開催形式について意見交換を行いました。それを踏まえて市民協働課で再検討を行い、案内が来ましたのでお知らせします。</p> <p>「全体委員研修会」は、自治協議会のさらなる活発化を図るため、1年に1回、全区の委員が一堂に会し開催するものです。</p> <p>今年度は9月5日（火）午後1時30分から西区の黒崎市民会館で開催します。研修会の内容等は市民協働課で現在検討中ですが、会長会議での意見を踏まえ、講義とテーマ別の分科会を合わせた形式で実施する予定とのこと。</p> <p>今後、事務局から出欠確認等あると思いますが、日程を調整のうえ、ぜひとも皆さまご参加いただければと思います。</p> <p>全体的な研修とあとに、好きなテーマのところで活動してはどうかというような意見が各会長からありましたので、そのようなかたちで進んでいくのではないかと思います。また正式に案内が来ましたら、ぜひとも皆さまに参加していただければと思います。</p> <p>ただ今の件についてご意見やご質問はありますか。</p> <p>ないようですので、それでは報告（3）を終了します。</p> <p>次にその他、西蒲区の課題・地域の情報などです。</p> <p>初めに「杜人」上映会のお知らせについて、栗原委員から説明をお願いします。</p>
<p>（栗原委員）</p>	<p>皆さまお疲れさまです。漆山地域コミュニティ協議会の栗原と申します。貴重なお時間をいただきありがとうございます。「杜人」という映画なのですが、上映日が8月5日となっており、次回の自治協議会ですと日にちが間近のため、今日告知をさせていただきます。</p> <p>チラシの文字が見つらくて申し訳ないのですが、二次元コードが読めましたので、もし興味あればご確認お願いします。</p> <p>こちらの映画の内容を簡単にご説明しますと、環境再生医として活動する矢野智徳氏の3年間に密着したドキュメンタリー映画です。</p> <p>1970年代から国土開発が進み、環境の循環が滞った影響で、近年多くの台風等による災害で傷んだ大地を再生するという内容です。</p> <p>全国各地で上映会が開催されて、今回、地域の方からの紹介を受けて、漆</p>

	<p>山地域コミュニティ協議会の環境防災部会主催で行われます。</p> <p>午前と午後それぞれ 50 名限定となっていますので、ご興味のある方は漆山公民館までお問い合わせください。</p> <p>ちなみに会費について、学生以下無料はですが、大人は 500 円となっています。ご興味のある方はお申し込みください。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。何かご質問はありますでしょうか。</p> <p>ぜひ、前半・後半それぞれ先着 50 名ということですので、ぜひ時間作っていただき、多くの方にご覧いただけるとありがたいです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
(栗原委員)	<p>ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>次に中之口まつりのご案内についてです。本田委員から説明をお願いします。</p> <p>配られているポスターが、中之口まつりの案内です。</p>
(本田委員)	<p>お疲れさまです。中之口地区コミュニティ協議会の本田です。</p> <p>ポスターを見ていただきたいのですが、中之口まつりが 7 月 8 日・9 日に行われます。</p> <p>8 日（土）は各種イベントや夜の花火、9 日（日）はバラエティショー等を予定しています。</p> <p>暑いかと思いますが、お笑いコンビのロッチさんにも来ていただく予定ですので、ぜひ大勢の方のご来場をお待ちしています。よろしくお祈りします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ただ今の件について、何かご質問等ありますでしょうか。</p> <p>ぜひとも大勢の方から行っていただき、いろいろな活動の参考にさせていただければと思っています。ありがとうございました。</p> <p>今ほど、いろいろな各種の催し、お祭りの PR がありましたが、コミ協に限らず、ぜひ委員の皆さまから積極的に、チラシとか PR がありましたら皆さんに情報発信していただければと思います。また、せっかくここで聞いたのもなにかの縁ですので、ぜひ顔を出していただければと思います。</p> <p>続きまして、渡辺忠矢委員から発言の事前申し出がありましたので、渡辺委員より説明をお願いします。</p>
(渡辺（忠）委員)	<p>渡辺です。</p> <p>資料は今日配付したものなので、読んでいただいたかどうか分かりませんが、簡潔に話をさせていただきます。</p> <p>この自治協議会では、区ビジョンやまちづくり計画の実施計画等、さまざまな資料が配布されますが、数が多過ぎてなかなか消化しきれないのが現状です。</p> <p>机上のペーパーで取り上げた「西蒲区将来のまちづくり」というものは、2 年前に出されたものです。これをご覧になっていない方は多いと思いますが、目線を変えた良い提言であると思ひますし、私たちが自治協議会の委員</p>

	<p>として、いろいろなことを考えるきっかけになると思ったのです。</p> <p>ところが、さまざまな課題に対して、踏み込んだ議論がされていないようでしたので、取り上げました。</p> <p>2014年には、自治協議会ができてから何年か経ち、活性化について新潟日報が自治協議会を特集してくれました。その新聞を見ると、当時の各地区の自治協役員が取材に応じています。</p> <p>行政の課題は、改善されていることもあります、解決されていない課題も残っています。</p> <p>この自治協議会は、30人のうち20人は新任委員ということもありますし、新しい取り組みを模索することも大事です。それと同時に、第8期委員の反省・アンケートというものがあります。このアンケートの中には、課題がいろいろと書いてあります。新しいことをするのと並行して、課題なども取り上げていくことが大事だと考えて、この提案をしました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>今ほど提案がありました、皆さんご意見ありますでしょうか。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p>
(鈴木委員)	<p>一生懸命聞いていたのですが、もう少し分かりやすく簡潔に話をしていたいただくと大変ありがたいです。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>渡辺委員、お願いします。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>別紙のところに書いた内容がすべてなのです。そういう提案というのが、大事だということです。</p> <p>行政は、いろいろなところにお金を使わなければならない。先ほど校舎が傷んでいるという話がありましたが、必要でもお金が使えなくて、すぐに対応できないということもあります。</p> <p>行政は、今やっていることを縮小するというのは、言いにくいと思います。それを自治協議会として、新しいことをやることも大事だが、縮小も視野に入れておかなければならないということを考えておかないといけません。何でもできるわけではないということ、考えたいのです。</p> <p>新しいことをやっていくと同時に、並行してこういった問題にも関わっていき、できれば良いと思っています。</p> <p>資料等をよくご覧になっていなければ「何が言いたいのだろう」と感じるのは当然だと思いますが、資料をよく見てもうちょっと考えていけばいいのかなと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにご意見等ありますでしょうか。</p> <p>唐澤委員、お願いします。</p>
(唐澤委員)	<p>唐澤です。ご意見は分かりました。</p> <p>私は1985年生まれで、物心ついた時から「失われた30年世代」であり、右肩上がりの時代を経験していないので、いろいろなまちづくりに協力し</p>

	<p>ている中で、かつて新潟の古町がすごく盛り上がっていたことを知る世代と話す、そんな昔のこと復活するのは無理じゃないか、という感覚がなんとなくあります。</p> <p>そういう意味では、「縮小を前提に」というのは 80 年代生まれ以降の人たちは経済成長している経験がないため、けっこう当たり前の感覚だとは思いますが、自治協の委員が、事前に資料を見る中で、行政の新事業ばかり注目しないで、効率化を図った部分や、予算を削減した取り組み、現実的な政策に対してもプラスの評価をしていきましょう、というご意見であれば賛同します。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>ここですぐに結論を出すことはできないし、その必要はありません。今回の意見は、ここで私どもがこういう意識を持ち続けるということを忘れないようにしてもらえれば良い、ということです。</p> <p>今いろいろなことが崩壊してもう何もない。見ていて分かるのです。これについて、やはり放っておけない。私も長いこと生きてきて、やっと思いつきました。もう少し方向性を探ることができるといいなと思います。</p> <p>ですから、ここで結論は出ないと思いますが、こういう議論をぜひ続けていければと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>議論することは大事だと思いますが、これを毎回やるというのは、どうかと思います。</p> <p>皆経験も業種も違い、普段やっていることも違うので、「こういったテーマについて議論していただきたい」というのがあれば、テーマを 1 つか 2 つに絞って挙げていただきたいと思います。自己目的のことでない限り、全体会でお諮りしようと思いますので、普段思っていることや素朴なこと、もうちょっと地域がこうなるといいな、皆さんの地域はどうですか、そういうことでも、挙げていただければと思います。</p> <p>議題の中にポイントを入れていただければ、渡辺委員が今回出された意見のように、議論がどんどん活発になっていくと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>渡辺委員、よろしいでしょうか。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>事前に出したところ、ポイントが絞られていないという話をもらいました。そんなことはないと思うのです。いちばん下を書いてあるように、テーマが大きすぎるのかもしれない。</p> <p>だから、「大きすぎるからしなくて良い」ということでもなくて、こういう話をいつもまでもしてられないというのは、私は少し違うような気がします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>いろんな意見もあり、人によって考え方も違いますので、私はそれを押し付けるつもりはありません。</p>

	<p>私はこれを見てそう思っただけであって、分かる人は分かるかもしれませんが、私には分かりませんが。とにかく議論をすることが大事ですし、参考として自治協運営指針の抜粋等も配付させていただきました。自治協議会は、基本的には市からの諮問がいちばん初めになりますし、あとは必要に応じて意見を出したり、いろいろな提案を市や区の方に伝えるという役割もありますので、よく読んでいただき、また今後も、いろいろなご意見をいただけると良いのかなと思っています。よろしくお願いします。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>もう 1 つだけいいですか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>はい。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>参考資料がついていますが、私の意見が市の方針に沿っているのか、沿っていないのか、疑問に思っただけで添付していただいているというのは察します。資料全体を読んで、市の要望を見ていくと、こういう意見が出てくることを想定している内容となっています。</p> <p>私としては、この提案は沿っているものだと思います。</p> <p>この、課題について意見がありませんかという用紙は、5月も配られて、6月にも配られてきたのですが、今回出したのは私 1 人だけだったそうです。課題はアンケートの結果もそうだし、探せば出てくると思います。そういうところをもう少しつっこんで意見を挙げる、議題を出してもらいたいのだらうと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。このほか、ご発言の事前の申し出はございませんが、西蒲区自治協議会全体で議論したい課題、あるいは皆さまにお伝えしたい行事などがありましたら、お願いいたします。</p> <p>資料はないけど、こういう催し物があるよということ、営利目的でなければ大丈夫です。</p> <p>よろしいでしょうか。ほかにないようでしたら、本日の議事はすべて終了しました。</p> <p>本日も、いろいろなご意見を出していただきありがとうございました。皆さんが活発に、自分の思っていることや考えていること、思っていること等を言える場を作っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。では、進行を事務局へお渡しします。</p>
事務局 (丹治補佐)	<p>ありがとうございました。最後に事務局から次回の西蒲区自治協議会についてご連絡をいたします。</p> <p>次回の西蒲区自治協議会については、7月27日の木曜日、午後開催予定です。なお、次回の会場は岩室地区公民館になりますので、お間違いのないようにお願いします。</p> <p>ご案内については、改めて文章を送付させていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、このあとの各常任部会の会場ですが、総務部会は 2 階の実習</p>

室、保健福祉部会は 2 階の研修室、まちづくり・産業部会は 3 階の視聴覚室で行いますのでご移動をお願いします。

なお、常任部会の開催時間につきましては 10 分後、2 時 50 分を予定しております。お手数ですがお手元の名立てを持ってご移動をお願いします。

それでは以上をもちまして令和 5 年度第 3 回西蒲区自治協議会を終了します。お疲れさまでした。